孫良誠氏に

吳氏日本へ

陸を拒まれて

警備引機ぎ命令

は東高密までは五月十日 は本機より引御ぐ は本機より引御ぐ

優秀振宣傳

再起か大望抛棄か

龍口に憩ふ張宗昌將軍

幕下もその進退に不安を抱く

方氏の愛嬌

**青鳥間は五月二十日ま** 

「東引繼ぎの具體案

全く實現不可能か

けふ國民政府から發表

廿八日迄の撤兵完了は困難

(天津特化二十五日後) 単門に動中である 展せる機構場氏は昨今下壁の練組 たので一塊の機能を避け取ら無数 をので一塊の機能を避け取ら無数

践日社印刷的 副一般 3808 - 808 E

萩川放談 武輸禁解

過去から日本英語は関門に、支 地震では、地協的の由って起りしは に、、地協的の由って起りしは に、、地協的の由って起りしは は、神震では、大変の大変なが存在。 が表する。列戦は東洋で和の信め 互びにこれを載めなければならなど、どしくと支那へ無いとは、世界のすべてに亘らず、協力を表が、をすってに亘らず、協力をは、世界大概に不要となった武器をは、どしくと支那へ無人する。

関の所権的と云へば、列献より比勝國民政府の総に都合いきが

あつた。

を影響された要素は氏御用船を到まれている。 このは 関東州船総合及び船舶政治にて、 着地高海島地の船湾後の事とて止むなく二十六四路が開発が

上暑よりも脱液するところあつ 関連反の下に船長島崎進六世 ではするところあり、同く管地 ではするところあり、同く管地 褚玉璞氏は

数萬の気を擁しながら僅か数千の劉珍年軍の爲数を無められ完計氏理部するか及は五族共和の夢を捨てるか集められ完計氏理部するが、今級完計氏は龍門を持てるか建設の的になつて居るが、今級完計氏は龍門を持てるかたまな野野に歩からず歌戦してゐる。そして無法作に破られた大きな野野に歩からず歌戦してゐる。そして無法作に破られた大きな野野に歩からず歌戦してゐる。その進退につき数多の不安を成じてゐると

文登縣へ

不戰條約問題の

政府の大體方針決定

すから會はない 速文化配六十二番地に式命中の前別を成立されてすが生態文化配六十二番地に式命中の前別を入ったのですが生態文化配六十二番地に式命中の前別を入ったのですが生態文化配六十二番地に式命中の前別を入ったのですが生態文化配六十二番地に式命中の前別を表示した。

本である。 東である。 東でる。 東でる。 東である。 東でる。 までる。 東でる。 まで。 東でる。 東でる。 東でる。 東でる。 まで。 まで。 東でる。 までる。 までる。 まで。 まで

四等船客として龍平丸で來連 御用船宏利號

條約公文交換は

地方長官大異動

乾安と次

**那 是 倒葵 并 紫 香** 

な洋樂

キブコウスキイ 競 様

ニッポノホンド

趣の丸様忠備

伊勢斯斯技道中 た 海相川

地方長官會議を前に

一【上寨二十五日登電】陳本領事の持念した保約問題交換公文は中本館の都合に依り其の交換期目を通り、南京兩事件調印後と
た、印詩は五月五日頃と見られてゐる

詭辯を弄し

すべしと個へられてゐる

州七日(晴) 南西の

御用命は最密の書音器店にて

14

「東京二十六日發電」政府は中央「加く地方官の製脂が決定した。 を終へて随客の立て直しを行ひた る上六月三世際館の地方長官急継 に先立ちて復興局長官の選任決定 に先立ちて復興局長官の選任決定 に先立ちて復興局長官の選任決定 に先立ちて復興局長官の選任決定 に先立ちて復興局長官の選任決定 に先立ちて復興局長官の選任決定 に先立ちて復興局長官の選任決定 に先立ちて復興局長官の選任決定 上本と大人的な地方長官急継 任豪知縣警察部長 上で大人的な地方長官急継 任豪知縣警察部長 上で大人的な地方最高。 一位 復興縣警察部長 山口縣學務部長 山口縣學務部長 田中 本等で之れに伴ひ内粉省内にも相 任京都府學務部長 山口縣學務部長 田中 本等で之れに伴ひ内粉省内にも相 一位 復興縣警察部長 一位 復興縣等務部長 一山口縣學務部長 一本 一位 日本 一位 日本

内務省異動と共に行はれん

来 / 立即された課長の神子を傾に が、手の助劣であったことが、いようは、 はいました。 これで今までの、 いようない。 これで今までの、 いようない。 が特別なるかな、推脱なるかなのでは大変では、推動なるかな、推脱なるかなのでは、対象の存する時間を表現のでする時間を表現していません。

マータイムーか月延期。そ

子供の

本行、と日本」の三字を削り同が、人事談へ、同事後の民が、臨時といったがこれは調査を設定へ、「財産の民が、臨時といったがこれは調査を設定したがこれは調査を設定したがこれは調査を設定したがこれは調査を設定したがこれは調査を設定したがこれは調査を設定したがこれは調査を設定したがこれは調査を設定したがこれは調査を設定したが、同期の支援を表したが、同期の支援を表したが、同期では、定義を表したが、同期では、定義を表したが、同期では、定義を表した。 は 見主義、様日主義、 既米迎合主義 ▲京都附立京都 #林學校 「一十六日陽東羅訪問上 十五名 問上 十五名 問上 ◆阿部貫言氏(泰東日報
記長)

・ 大日出帆のあめりか丸にて内 廿六日出 高。機能決定すれば決定するのか 大觀 私教将素の精製並に濃縮古私教腎炎の病理高橋総三競派 一帆の天津丸で青島へ けふ發表さる 要各地に於ける漢薬 都無林學校一行六 同上 大連商職書門長) th

同族同大 和家 直朝され

関東政府の為に都合好き収施 関東国際の為に都合好き収施 だらざる場合に 原民政府は此ばらずる場合に 原民政府は此ば するものなりと承認され、所能な りとせね、所し事情からすると 実の統一は主だ州東て居られ、 実の統一は主だ州東て居られ、 実際政治の勢が発症を を地方でさへ、実制で他の行はれる地方でさへ、実制で他の行はれる地方でされ、 を地方でされ、実制で他の行はれる地方でされ、 を地方でされ、実制で他の行はれる地方でされ、 変な 時かも知れのが、此項審園とある 府を以て既に 度の協約政策にも關係なし と思ふっと思ふっと思ふっと思いっと思いっと思いっと思いっと るなん 

經濟調查局

投げられた

反應は如何 局面急轉直下説あり

舞楽スケッチュー 草津油 もみ 順 大和家 三姉妹 安宗師(山中町入り)

桂川帯屋の段竹本源太夫 古典藝術の粹 みだれ替手に対示後才養の対象の (相川の段) 竹呂昇 高野

雅音皆無。 新製法 れありて!! 五月

同政府に都合好きことあるか忘 うした拘束のあるが、反つて



森外務次官

解表提出

幹事長に決定

末村松太郎 **新** 東 東 時 栗 東 時 栗 上秋波

古本地き

基礎案を可決

軍縮準備委員會で

**岬發航を待つ** 

たる飛行機飛行船減少家を姿員會の種限外として整理條件ならしめんとするものである衙門委員

理由 のもとに提の上には

香港市廳舎で

情路側の地域が開発にある。 第の指法を験はす頻ッの地域が開発には無くてはならない。近年には無くてはならない。近年が地に無当せられ年と、一般とは其額も増加し下側、神戸に大蔵や其額も増加し下側、神戸に大蔵や「一般に好きれる」と言ふ本年も四月初から送り出しては、「一般に好きれる。 と言ふ本年も四月初から送り出したが、近年が出る。 と言ふ本年も四月初から送り出したが、近年が出る。 と言ふ本年も四月初から送り出したが、近年がより一般に好きれる。 を言ふ本年も四月初から送り出したが、近年が表記に十六萬五千斤金額に好きれる。 を言ふ本年も四月初から送り出したが、神戸に

は大統で實つてゐるに下語はお耳ひに襲事の結果五銭Lは下版で買ひ込んで行つた所人

かつてゐないだらう

けふは遠足デー

小學枝の兒童が一

上つて主に東京

公式歡迎式

御訪日

し始めた、それと知った

手段を弄し商租地の

前に御到帝上原元帥の御光響白川岡田兩大臣扈從にて神前に御舎進恭、しく御親拜あらせ皇陛下御親拜の下に殿かに執行された此の日天皇陛下には午前十時宮城御出門町二十分記皇陛下御親拜の下に殿かに執行された此の日天皇陛下には午前十時宮城御出門町二十分記書陛下は中前十時宮城御出門町二十分記書 られ十時二十五分御氣嫌匱しく遺幸あらせられた

## のが抗議を無視 阿租權を侵害 奉天北陵榊原農園の中央に

支那側鐵道を敷設

市民が自慢

の蝦は

内地の方が安い珍現象

今日まで約七萬八千圓を輸出し

- 闘邊では大競爭

では悪に出づるなどは一瞬原機場、接跡を凝らし土耳其繁青色カーベ るる、海食堂は二十餘の座席が設め間題で當局に於て大なる。にはマホガニ製大机テーブル響機、発生・管城スープも完備されてる間題で當局に於て大なる。にはマホガニ製大机テーブル響機、浴室や電城スープも完備されてる間題で當局に於て大なる。にはマホガニ製大机テーブル響機、浴室や電城スープも完備されてる間題で當局に於て大なる。にはマホガニ製大机テーブル響機、浴室や電城スープも完備されてる時間で富力に対して一方帳原氏は作十五の他の家具は矢眼り青と銀色のド、出來である

蒙古各旗結束

土地解放阻止 支那側の態度に憤慨

一十五日午後十一時中ごろ大連奥 昨夜山縣通で

所で、 大きな、 大きな 大きな、 、 大きな、 大きな、 大きな、 大きな、 大きな、 大きな、 大きな、 大きな、 大きな、 、 大きな、

で「田間を要する挫傷を負ふた」の場合を強って軽減した為の変給習

落下して人家を映襲した。 薬を避みな人に呼襲し附近民家五 照住教子大公、市内東京企業を避免したが、ボイラー時より教訓大祭を執行しいの一部は約二所はを隔てた個所にり参拝者には残らず神酒神の一部は約二所はを隔てた個所にり参拝者に投らず神酒神の一部は約二所はを隔てた個所にり参拝者に投らず神酒神の一部は約二所はを隔てた個所にり参拝者に投らず神酒神の一部は約二所なを隔でた個所にり参拝者を敷迎する。 

立教再勝

0

去る三月二十三日安東海陽より球

得ることとなった

輸入差支なし

トランプ花札の

姦通誘拐の

登

UFELONG

湯屋のボイラ 爆發し椿事

守備隊兵歸環

等級

無住教大祭 市内惠比須町

一、景品引換期間一、景品引換場所

日まで限りとし以後無効と致します。昭和四年八月十六日より同年十一月末製氷株式會社並に旅順出張所

金千九百三十四六十錢

昭和四年四月

發賣元

大連製水株式會社大連市常盤町二三

天長節祭を莊蔵に執ては午日、天長節祭を莊蔵に於ては午日、天子役員等参列の上

順

旅島町

話

0

北馬

直到 0

◆……春の態氏域は雨に杏花は食り始めたが、梨花の蕾がふくらり始めたが、梨花の蕾がふくらりが水で来た、冬濃気や部落の梨花が来る。

訴訟提起

支那人車夫が

院及唐澤準吉

0

歐院長 木材俊野

理由は長は同郷の関係で行を昭和三年十一月同居せしめた處行和三年十一月同居せしめた處行は張が車夫黎栗で外出勝ちなのを奇貨とし張の妻高氏(二二)とを強進し、版に度と現場を押へられたに拘はらず魏陽係を織け、私に接いが、高氏とは依然関陽係を織し、月大日常に高氏をそれの場で、高氏とは依然関陽係を強け、るに至ったが、高氏とは依然関陽係を強け、るに至ったが、高氏とは依然関陽係を強してみると謂ふので

五彩に映る噴水 伏見臺配水池のさくら

年 年 前 九 時 ョ リ

**港市山縣通七三** 

笠松選手に市 長が金牌贈呈

澤院

は大きな機能のかの合味者、他 素達が続に印向ばつこをしてゐ 素達が続に印向ばつこをしてゐ な、まさに春間である、此處 である、此處

家族會に適しい處一八分段き 星ヶ浦の櫻

**大連**市

速町

柳本吳服

6

電五八五八

正面衝突 女給負傷 0) ドルミ

はを特に盛て福見の人の興をたす。金メダル一篇を贈ることとなった。 ない、二十六日本町日井鶴務部長 から本人に手交した

ライオ

印

サ

イダー

ロン

だらうと見られてゐる

自動車

天覽試合へ

本別四、五の兩日宮養地に向った 高野改設社は、同個生武雄氏ならび 高野改設社は、同個生武雄氏ならび 高野改設社は、同個生武雄氏ならび 高野改設社は、同個生武雄氏ならび 大変道選手が開発を設します。 「一条道選手が開発を記します。」

二十五日早朝領域総合を設定した。 通となった率天北平間支那電信級 通となった率天北平間支那電信級 大橋、平里店、茶州、沙河、虎 原議及平平に通ずる電線は今尚 不通である 支那電信復舊

◆……アメリカ、インディアンに がめて女の強長が現はれた、然 がき的・十四説の少女である とはウイスコンシン州のブリ ンはウイスコンシン州のブリ 衣服は無色とし普浦支那根 三十四日まで またどかき破格至廉 勝馬投票券所 開 る 長崎チャンボン うなぎ。 定食三品香のもの附五十銭也(午後一時まで) おらし天 ぶら で 鮓。小鉢もの。ごんぶりもの支 うごん 金を法社二五星人圏サケ 大連市告野町(満月前) 馬 大連競馬俱樂部の二種 御手輕會席御料理 代 會 雨天順延 十時開始 話六 六 各種

軍々醫少佐 坂田忠作氏創製學博士 名古屋長藏氏 推 獎



自由に御引換下さいに有機別級券を招覧とて御買上げるするのが す御自由に即使用の程を座布圏の用意もして持る 櫻 餅・ 志る古・

曾世以田 三井。此。催

荷すいシェラ・王子・刺身・一人機選店架設

**青柳農園に臨時** 單次大

着尺。單四陣御召。京明石。銘仙。■丸帶。紹プロミナード服。單繪羽々織。瀧しば古福納振袖模様。紹新江戸確模様。單プロミナー 單帶の春セールの浴衣地の

期日 四月世六日 了五月五日三人一天 新製品再じ着芸

大景品的——盤箭豐忍

塩添九帶——十二面至一段·20二重片側帶 紹卷線。妙三排。付——六十錢!三圓界。 京郷召一十三 圓洋 半額5近5季 十三圓金波小紋

十九八七六五四 

中の後等率に比し十銭

况

上上中では大日本円山水 に 上海十六日登電 対科高に高寄 に しと変値には変量の顔れあり、高 に しし変値には変量の顔れあり、高 に は利喰資物ありて商内多き割 と 合に相場動かず、 温馨など好く質つ 悪銀行筋少し買ひしもあと変りに鴨 まびた金、三井、 温馨など好く質っ で たり緩き 運塑の構愛りは本朋より で たり緩き 運動のと思ばる、支那 で の送金によるものと思ばる、支那 元本枚 1、184、元日) 起見な紫素 松・ 櫻 餅・士 絶對確實に接觸権数を強節 疾病、軟性下指等)に對し 本品は他ての花標類(梅春

製を見はツて

ートンの総長」は実は丸変

気のピンのロー

チュツーと出て

店商原祭針會式株店華代

ので随時間所で動眼し得らる。 ◇…スマイルの主効はほし自つ ◇…スマイルの主効はほし自つ を恢復し関力を認め角膜を清澄に を恢復し関力を認め角膜を清澄に して服件を整へる。

◇…殊にその容器は清新駆快な 自働式點眼器を乗ね現代人の要求 にピタリと一致する標準子便のも

たらの機略に受けた女ちゃったが、「「なく私の家に来てをったが

北大路駅の間の奥方は

れとなく時に聞いてをつたがの

・一を要はてし

女だったが、

一様はれた上は、是

「えょう?、先生し

「左横、いかにも個

B

奥族とのみ、

言ひかけた。年を、額いて

「はい、まア好うございましたこと、懸ち恨げてしまッたっと、懸ち恨げてしまッたっと、然ち恨がてしまった。

来る廿九日午後一時より協和會館、来る廿九日午後一時より協和會館

関の段、笠の段、山姥氏)▲仕舞、鵜亀、簾、東十郎氏)▲仕舞、鵜亀、簾、

和會館にて 天長節に協

自由

おっそれだっちゃが、

ウム、その女は、どこにる

愛れー、ヘツ、江戸の乙蔵に迫つか しか?文昌の野郎、どまて見やが しんか?文昌の野郎、どまて見やが し

「あツ、親分」あれは何です?」と、俄に叫びだした。

けられて、うまく

と处げやうな

期待され

3

と、「に立つてる。単を見ると

舞踊大會



Щ 富太

(221)

奉祝素謠大會

な (A) 然し、モダーンな眼の実な (A) 然し、モダーンな眼の実な (BC)) それは初耳ね…ゼヒ数

(人) あら!全く御存知ないのな、あれを知らなくちや私よ。 王ヘロルド、カイド氏

アントニーならずとも、世界は 野性を探験する秘訣……。 のた解星のやうな観光にデロリー つた解星のやうな観光にデロリー これが、 のたいでは、 のでは、 (記者) :では側初め限させるのであらう…と云ふお話がありますがなるに立れよりも妖態を握まりなかったる似別があるそうに思ひますがなる似別があるそうに思ひますがはまななの。ところの後女の瞳に主なってもして、グラなしないあるそうに思ひますがはなる。ところの後女の瞳に主ないやうながあるそうに思ひますがはなる。 の心無無は、全く素敵だわ!

一級眼科薬フ 美 婦人の眼につい --新雄の女流作家--新雄の女流作家 問題となったクレオバトラの 0 禮。讃 リーとした一瞥にも深い口楽をや過度の概念がでは一向無観音で、ショッと濁つた様な眼・瞬眠がで売血した\* ての座談會

(C) その歌になると、安郷人の方が余程進んであると、安郷には昔から耳縁除と、関連がから耳縁除と、関連がある。

彦 宗

ロイドの 大 别 特 ●史鬪活然自大●榮之覽台覽天賜



演主郎九新宗正 サニ日より

(B) 甘から眠の妙薬と云はれ (人) お他転換りの目覧ましい を表いさいふことを全く等。 概に附してるるのは質に不思議な 関に附してるるのは質に不思議な できない。ことを全く等。 かつたかといふことは勿論規僚されますが、それにつけても近賓のれますが、それにつけても近賓のなどとなる。 駅に對するお化粧ぶ ベトラの、その眼がどんなに美してみる鼠珠を一谷みにしたシャオ (C) あら…私もですわー。 (配着) ちゃ下皆さんスマイ・ 気理で皆さんのお眠はタレオペト (B) あ」、あ \* 液量日貳拾貳

各種製造販賣

書引手寶青星送第2松申

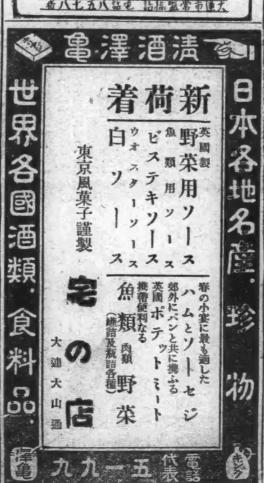














市市 で プランル (三) 上海の (1) にある。この意味に対して (1) は (1) にある。この意味に対して (1) を (1) を

南征雑録

**やは大連市日** 

で目まない。

以内のこと

ものは採らず 投書歌迎

各方面の同情集る

選校来、市長選挙に絡はつて 生じたる各種の問題に對して我 等は其の都度批判をなし、所信 等は其の都度批判をなし、所信 を述べたのであるが、兎に角、 今日の事端を惹起し、紛糾を重 ぬるに至つた所以は、現市會議 の為に至つた所以は、現市會議 の為に至っために助き、市 とつよあることは常然と謂はねに質に不倫快であり、情懣を感に不倫快であり、情懣を感動を必要ないよこと 開深炭礦の大爭議

張學良氏が

大連牛乳株式會社 大連牛乳株式會社

高

ではなるなるなるないのなるの然

2 ガーモシン店電六六八四

貨物運動車を飼利用下さいの情物自動車を飼利用下さい。 大連タクシー

松林町八三 能勢ヒノ ンプ占(元西通り)

宮崎市議は

潔白だ

(下) 大內辯護士談

日本機勝 電話三五八四番 光葉寫眞館 電五九八二 光葉寫眞館 電五九八二 光葉寫眞館 電五九八二 小鳥。默認論之 新茂洋行 電五四三九 大型幹域町通五八庫都営高山 大型幹域町通五八庫都営高山 大型幹域町通五八庫都営高山 大型幹域町通五八庫都営高山 大型幹域町通五八庫都営高山

店員 入用計一機位の ででは、大田 田都井 電三九五三 大江町 田都井 電三九五三 本談市内磐城町一〇〇清水商店 を設市内磐城町一〇〇清水商店 一百進設 婦見智楽集木人来談 が正成者本人

第四 大連市州場町三二 大野。甲事門店電話人四三二 大野。甲事門店電話人四三二 中宮町用金は 大連埠頭持合所の

金雕教<del></del>老科 十分及曹 第 小 身 孫 局

古者 神質、教会上 まつや 出版町 たじまき 電気 ( ) の 1 番 賃衣 な の は であるから (日本権近) 吉 野 號

學,如此,如此學

E

料劇觀御

七一週五十錢 過

座席申込みは

田家。朝 二場 連劇場 湯



鶴見 崇科區

大連町一丁目奏通 日都洋行 東部 一丁目奏通 日都洋行

牛乳

東際順値ある海外上の内容元実・大級市位!!

新派と歌舞後

月二十七日

幾村

多ののなかか

事門のヤーノギャへ大連市漢連町五丁目面品館内 環話セカ五三郎

東京同學校出身 藤永綾矢治泉所 東京同學校出身 藤永綾矢治泉所 一東京同學校出身 藤永綾矢治泉所 一東京同學校出身 藤永綾矢治泉所 一東京同學校出身 藤永綾矢治泉所 一東京同學校出身 藤永綾矢治泉所 一東京同學校出身 藤永綾矢治泉所

名は日新

若狭町二番地 中

世婦人子供服は切地を尚持ちになれば丁寧に安く仕立ます尚敬をも致してれ

海面兜山上に 海軍記念塔 今年二十五周年の 日本海大海戰記念

近~工事に着手 **海泉場開放の第一段として** 

斯人

鮮婦

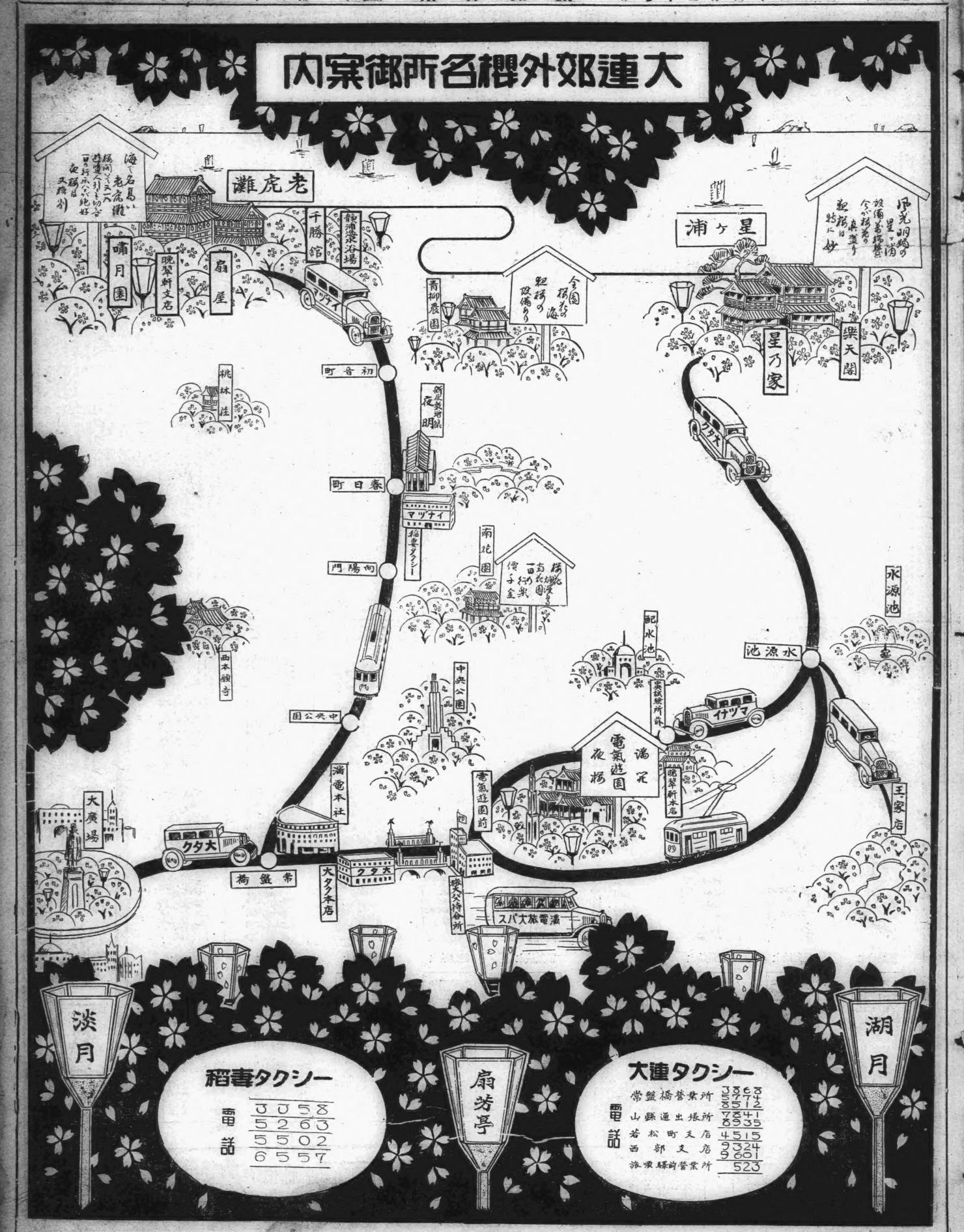
を

鑿で挟る

公費をもつて建築

へられてゐる

東支鐵東部線で 貨物車脫線顛覆 本看載十四輛大破



をいふかを聞くことがかなり人のでは、

したいものである。

0

兒童文庫の活用で

見童。研究

とに少い。

で記載がは医生物がする一方で記載がは各人間を作ることは数 ゆく。此の間に盛して特殊験業

見者の寸時も忘れてはならない

過ぎてゐる。

とのない人の言かさ

人間の生活を真剣にみつめたこ

異ふといふことは住々にして如

にもいやしいことであるかの

く考へられてゐるが、それは

とか言つて済まして居られるかとか言つて済まして居られるか 育を述し、教育だとか人間教育だ 系服に選挙してある先生達は教 系服に選挙してある先生達は教 かっ 食ふことの保護を得られずしてしらへてもらひたいのである。

我感の學校教育が能外層の學校教育に比して其の情報知識の學校教育に比して其の情報知識的學校教育が整外に無数の多いことが其の最大なる原因であらればなら自然して修築年限の長いといふことはそれだけ社會への質いと 役立つてき あるだらうの

推薦の兄童讀物

青年會主催

雄辯大會

(四)世界數學史(小坂正行)

とが出来やう。とにかく今の数と

育は被教育者の永遠の幸福を考

てず徒らに枝葉末節にのみ走り

を以て教育の質的完賞の根本と 樹となるわけである。 概念能に眺めたならば大なる損 できない。 である。 、職業に對する調練時合 會に於て左記二種の護物が推區。第十一回教事兒室護物明査會例

法書: ※ 1 大きない では 1 大きない できる 1 大きない 1 県力王嶷を排せ 同米定 吾人6 受醒 既に支那を識 良野たるを以て任ぜよ

**古本** 登 橋木日出男

局に最善なる對策ありや否や

昭

9

7

能効治主

旗

が早して単物常局に或は単校学で来たことを物語るものである

も消く不能全なる思想が浸料し

とは関東州内の歴生に

小鳥 撫順

主義に及ぶ 時を超えて 同 満輩の地を我郷土として 大二中 足立 獲行 目醒めよ少さ\*開拓者 育成 松木 ことが必要であるが如く不健全 思想に對してもそれらの思想の 由来するところを探究すること が先決問題である。 大に肝薬なことは思想養婦の

今の親しい教育者が置や置を食って生きられる他人のやうな人のでものであるならばいざ知らず単なものであ

父兄の後援によって大正十二年

が、其の活用の方法に至っては、相當有力なものである

(三) 製指トム (秋島史郎)

個性をし

なやら人材を活かすには須らくしての個性がある。松を作る人は郷の手人と同一観してはならは郷の手人と同一観してはなら

性を数すことは結局人格を死灰の個性を殺してはなられる個性を殺してはなられる個

一種、舞常小學一年程度、全部工字結八十行以內一回讀切り工字結八十行以內一回讀切り

圊

曾

見

光あら

今

しくなるばかりである。

第二

と兒童讀み本の

ち見ると小型校に於ける文庫と 情七千餘册を有してゐる比點か がない。 ち見ると小型校に於ける文庫と

院政行假一聞八十銭

新與青年の使命

博光

和

邦廣

さ

能効冶主

芳人

たら、決して其の美米を収める 任にあるものがこれらの思想について十分の知識を持つことだったり、共産主義者が、る。中にしたり、共産主義者が、る。中にしたり、共産主義者が、る。 ることさへ出来ぬであらう だりしてあるやうでは思想を眠されたりしてあるやうでは思想を眠さ 懸賞童話募集

昭

禁

昭 t きの禁 7

能効治主

能効治主

成

事本類の特徴なり。 一日分 多拾

二日分 拾五錢 學拾錢以上

能划治主 能効治主 要、素が迅速なるは之にほう。 要、素が迅速なるは之にほう。 要、素が迅速なるは之にほう。 痛、眩晕等に特効薬。 をはする不眠、四肢脈冷、肥管力の減退、頭 地域する不眠、四肢脈冷、肥管力の減退、頭 地域する不眠、四肢脈冷、肥管力の減退、頭 を表質に特効薬。 加拾錢

M Ħ 蘇 案

百百

教育無駄話 食かことに 役立たぬ教育

い教育も今少し何とか考へ直さらないやうでは現代の所謂新しらないやうでは現代の所謂新し なければならないのではあるま

立つやうには改善されず卒業してしまへばあとは勝手にせよといったやうな教育が依然としていったやうな教育が依然としていったやうな教育が依然としていったやうな教育が依然としていったやうな教育が依然としていったが、高等を受けるの機能教育であり、高等を受けるの機能をであり、高等を受けるの機能をであり、高等を受けるの機能をであり、高等を受けるの機能をであり、高等を受けるの機能をであり、高等を受けるの機能をであり、高等を受けるの機能をであり、高等を受けるの機能をであり、高等を受けるの機能をであり、高等を受けるの機能をであり、高等を受けるのであり、高等を受けるのでは、自己 定評を下されることになるのでにいないなどといふっぱり役に立たないなどといふっぱり役に立たないなどといふっぱりではないなどといふっぱりではないないとになるので て上級単校への準備教育にのみ

ない、小學校教育にはかなりに無駄が多い、小學校教育にはかなりに無駄がない、小學校教育にはかなりに無駄ない、中學然りが多い、小學校教育には上級學校への受験ない。

教專讀物調查會一

殿らず教育は 

9、地理部代 四九九 17、歴史原記 四九九 2によって見るに、見塗はお伽 2によって見るに、見塗はお伽 2によって見るに、見塗はお伽 2にが地理歴史や理化駅的のものなが地理歴史や理化駅的のものは一筒設まった傾向でもなく、當時に始まった傾向でもなく、當時に始まった傾向でもなく、當時に始まった傾向でもない。 1011 をなさないと思ふのである。…(夫完)…

和昭

#

作一政一、小昌山直、《秦田诗篇· 竹中政一、小昌山直、《秦田诗人、寶性滅成、平野正湖、山 榜元幹、手纖維、保本廳矣、田 特元幹、手纖維、保本廳矣、田 等元幹、手纖維、保本廳矣、田 等元幹、手纖維、保本廳矣、田

語學校受驗科 観常日持念のこと 募

一十人田子後一時より神明高等女學校問務者では四月 一十人田子後一時より神明高女 一十人田子後一時より神明高女 一時より神明高女 一時より神明高女 一時より神明高女 一時より神明高女 一時より神明高女 一時より神明高女 一時より神明高女 一時より神明高女 一時より神明高女 新入會者歡迎

窓會 **呷明高女で** 

一、總募資格何人にても完支な一、總募資格何人にても完支な ○今 学覧は 本 に は た たる自作に限る

理とするは既は黄金である。過去の世 に 本を以て 直ご自分に取つて な有難いものに相違あるまい。 は有難いものに相違あるまい。

ならしめる所以である。ならしめる所以である。ない理想を作り、被感を構へ、そしだしも、若い理想の憧憬者をして、其の同情がなして自ら苦むはまだしも、若い理想の憧憬者をして、其の同情がない。

理とするは悪はざるの歴だしいものである。無論関理は軽減に より機能づけられ、若くは聯約 されるものであることは容易に 育定的來るが、質地そのものと

が飛躍性の光壁と得する人達はが飛躍してあるではあるまいをを打振ってあるではあるまい。そして民情的に干渉の

り次して射息の戦元を施してははせの繰りに開い枝素でない限

地に大方が如何に整ひ、 を全した様式も低率の効を示すに をしてはできるでは、気が如何に工夫されても、 をしてはできるでは、気がかがしてあった。 をはいと同様、数技法が何に整ひ、 をはいと同様、数技法が何に整ひ、

ジ係」とし、脈質覚話」と

と他既性とを活用

なものなもの色彩響な明る 88

能划治主

を動きた時にて解さき時又は無路し佐い手足は乗や本側にて解さき時又は無路し佐い手足は無路し佐い手足が開発が表した。 電船汽車の量ひ 電船に (1885) では (1885 多拾

能効治主

上。明朝 耳等 其の他體劃に原因する腹痛、 電吐、頻繁等直接間接に治

300

三日分

亚

拾

魏

能効治主

時類其の他便秘より来る路底に動す便秘。漢上症、耳鳴・眩暈、胸腹症 施る

三日分

して其の効迅速なる事語合なり。 2 拾 錢

得る事妙。 得る事妙。 得る事妙。 時候あたり等にて下 五拾五錢 拾錢 霍节

二日分

3

す賣販に店藥各地各 地番五町笠三市辿大 昭 行洋和 元賣發

店理代五四一列連旗市連大 約井井井井井 店被被被職 天東島春賓 昌昌昌昌 至京至京堂

のので、右六ケ所に於て催しをな 田のの秩序を保つこと」なつてる。

を持いって

特殊の「働きをせれば立

も腹入分に食べてゐるも物に馴れ食物に肝を嫌ひ

谷水源地に於る

團體お花見

大連民政署水道課に

許可願提出のこと

満鐵乘馬會員が

來て見てピック

大連の藝妓稼業

一般的、株式、各地相場)ニューの一般では、株式各地相場) は、日午後三時三十分 相場(特産、日午後三時三十分 相場(特産、日午後等時三十分 相場(特産、日午後等時三十分 相場(特産、

周旋屋の口車に乗つて

廣島から來た若い女

の浦ケ星ふのき 會安慰合組業三 る

長生きする秘訣

満洲醫大ご附屬醫院の

獨立會計問題

出生率激減

成十二年後入時州分南浦州附近を禁

熊岳城農業實習所

實習生

ラデリ

移民法實施で

森幹事解決策に悩む

計員の貯金は四月二十一日以 【サクラメント二十五日設電】

断崖より墜落

十五名が重傷

うなぎ。鮓。小鉢もの。どんぶりる臺灣ピーフン 御手輕會席御料理

御手輕會席御料理

0

各種

代

定食三品香のもの附五十銭也(午続一時まで)

ちらし天ぶら折詰。辨當。仕出し

大導市官野町(茨月前)

H

A

九

\*家

詰折理料洋西るな利便も最 宅の店 ウイツチ 計が一へめ 乘合自動車が

詰折行外庭. 三一用用用 AAA 

箱吉商店

行ます。 角御参考までに続端媒介の関れあるもので容易に消毒に依て防止し得るもの二三例を

電話七六四四番

文化式儀式取扱

を四三八一

一、一、 古各 貸貨

本幣

(供り消器施行して居ります) 一、古着及貸衣装

折疊式

そろく 悪疫流行する季節となつて來ました。流行病の如何にそろく 悪疫流行する季節となって來ました。流行病の如何に表すから御安心の上倍舊の御愛顧の程御願申上ます。 ますから御安心の上倍舊の御愛顧の程御願申上ます。 ますから御安心の上倍舊の御愛顧の程御願申上ます。 ますから御安心の上倍舊の御愛顧の程御願申上ます。 ますから御安心の上倍舊の御愛顧の程御願申上ます。 ますから御安心の上倍舊の御愛顧の程御願申上ます。

組立簡易

ヒキツ

堀出し物の 廿九日迄 情死を圖る

酒渍

荷新

東野栄用ソーステキソース リオスクトソース

英国ポテットモーを対外にパンと共に携ぶる

最も適した

じ

8

御前試合出場

に病腸胃性慢 の朝明でんの晩夕 意注神に体容

\$

東京風菓子謹製

かの

西海

大

界各國酒類

食料

00

傳染病豫防に

就つて

羅紗小倉厚司 Ho がさ 大 安賣

山本洋 新

熊岳城農業實習所繼道株式會社設立

0

に申込まれたし
に申込まれたし
に申込まれたし
に申込まれたし
に申込まれたし
に申込まれたし
に申込まれたし 家族を 9

御用命 I

千人前迄の御注文に應じます 御一人前(折請)金五拾錢以上 大連驛構內食堂

大雅市岩代町一四

量の表替へ裏返し迅速叮嚀に致します 備後 高

浪速町二丁目大連商品館(右入口)

北を持つてるたにして

鼠,茶七

(無とル金は50.00回 英セル金20.00回 英セル金20.00回 英セル金20.00回 英セル金20.00回 英セル金20.00回

ネット金1214 18 20 25 開

紙製品ト味品(カタログ遊話) 生 徒 製 作品 賞 費 労

易の

医動だつ

日本には乗り

**利肖機**買なら

機械の元祖▼

信用ある

河印の河波澤

庵に限ります

小儀式に限る

ながれる ( 糀漬、)

河

**屋商** 

も美味天下一)

(別所論の) そ附キマス

鱼漢方無量壽醫院

京小石川下宮坂町二〇、無量等栗原

十二國心送料十二統部外四十五

(配明書送呈)

満期ノ節へ別ニ割増金 中年と累加シテ行り外、 四分五雁 次回对九分 保険ノ配営率へ初回ガ 常社ノ利益配當附養老

の御出文は第五特

に溢れ、不安実り光明忽も現るべし。

の治療薬ここにあり、即時海科服あれ、

る事」なので りれば、何の

「果さん。変はもう数目だわ。と「忠告です」

ても、今までの様に変の仕事と考」においてなんで「と問く性を開ざされてるるん」的な思告でせう」

整くの使命なんです。形での成功、「忠告、その男の如何にも落つてするの」でするのが、た態度を個々しげにながめた。

には「出来難き事」はつきものなったく聞いておくわ。では変も、もこには「出来難き事」はつきものなったく聞いておくわ。では変も、もこには「出来難き事」はつきものなったく聞いておくわ。では変も、もこには「出来難き事」はつきものなったく聞いておくわ。では変も、もこには「出来難き事」はつきものなったく聞いておくわ。では変も、もこには「出来難き事」はつきものなったく聞いておくわ。では変も、もこには「出来難き事」はつきものなったく聞いておくわ。では変も、もこには「出来難き事」はつきものなったく関いておくわ。では変し、 角も木部からの命令なんです

安置(昭和三年度

なると問題(一) をすれ、級があなたに合すること「子が出音合子はその性層とせる鬼などは、残してしてはならないの略らの内ボテルの一記で、一人の不思です」 では、これに、「ところが、私に置されてるるたりすぎますよ。これは、「ところが、私に置されてるるたりすぎますよ。これは、「ところが、私に置されてるるたりと財産してるた。」「じゃ、妾のする事などにそんな

らる、それに成功して見せるわしのうちには、あなたが吃事するく

は決して日本人ではないのです 主治の經験

(113)

健康相談

師と臨 結核患者よ、能に悲觀する勿れ、 敗跌の病體に、更生的東洋皇漢薬の根本的治験は、今や世界の根界に確認せらる、 悲觀する勿れ光明爰にあり

大連 會合 配資

矢町

元地

商

五五

經常原質、非確常固プ 生命保險會社へ競ッテ

供シテ居リマス

の活力を興へ武固

る野然、松汗、暖味、下痢の気きも自

会配當」 附保除り提 一貯金利息ニ優ル利

は医院宛御書面のこと

料十二餘海外四十五錢

级替奥京二〇〇二1番 電話小石川二九五六番

で似して其機能を完全にし、 ・ 無せる例は 「職」と、病我せる胃臓の細胞は、されせる胃臓の筋肉は、されを緊ਆして患者 題は、されを改造して消化吸收を良好に の試しあれタラコン関特の勝効を 五鷹、十鷹総鼎五十銭、一圓、三圓 健康ここに生 築養を増

お試しあれ

獨特の藥効を

胃

『マルラ什コキス」は「マルル

等の治療的条髪

養 誓

な主成分をせる記見<del>の質</del>品

殊に痔核、痔出血 脫肛、肛門裂傷 肛門周圍炎等

10萬 25萬 100萬 300萬

14:10

小儀米問屋本店

企業、軟害。共に全く刺載なく。殊に急部 に於ける局所麻痺は頗る迅速に作用するた 以て、創芸なる疾病及び痒感を去り、止血 設査、卓軟性を具備し且つ防腐作用を有す るが核に創画組織の新生を促し治癒的効果

禁止 塩野 戦 高 店 大阪市 東田 単 市 店 東京市本省県 5 日本

サラダ油 ーフイング、ビッチ をおいる。 グラハイト 機械油 油類 ベイジト ● 大連汽船 山帆 大連大湖東 五月二日前十一時天津丸 五月二日前十一時天津丸 五月二日前十一時天津丸 四月廿七日後四時天湖丸 四月廿七日後四時 五月七日 四月十七日後六時四月十七日後四時四月十七日後四時四月十七日後四時

目品業營

テキサコル 龍印ボイラー

魚重揮 油油油

むやかと思えを取やする 神助な悪膜の 分讓所

生殖器障碍

金属!

蛇よく

上品に

緑滴る 黒髪の しさよ

皮 電話五二六0十 尿 病粉粉 屬 藍 뫓

N. 7.52

武丸 五月一日 東東 五月一日 東東 五月一日 東東 五月一日

五月十三日**李浦**行 五月十三日李浦行

等。 東十一共同東西月十八日後七時 東十一共同東 五月一日後七時 東十八共同東 五月一日後七時 東十八共同東 五月一日後七時 東十八共同東 五月一日後七時

沙河口切符發質所大山通り切符發質所 國際運輸

0九 五月二日

和光堂大阪支

B

廣告

朝鲜郵船

寒陽荷凝接店(大連市敷

その進退につき幾多の不安を威じてゐると

一陸を拒まれて

吳氏日本へ

四等船客として龍平丸で來連

あめりか丸に乗船す

大連に現る

孫良誠氏に

警備引繼ぎ命令

な 高の兵を捧しながら使か数千の割砂年軍の路時卒もさせられた要宗は氏の今後は? 様ての興味はこの一監にさせられた要宗は氏の今後は?様での興味はこの一監に立起の的になって居るが、今張宗は氏は龍口を追校にその六尺餘の身體を動してゐる、そして無造作に破られた。 大きな野壁に少からず歌戦してゐる由で悪下の路時卒も大きな野壁に少からず歌戦してゐる由で悪下の路時卒も

機軍隊は發表せぬが張店以

青鳥間は五月二十日ま

以東高密までは五月十日以東高密までは五月十日本側より引継ぐ

優秀振宣傳

中起か大望地棄か

龍口に憩ふ張宗昌將軍

幕下もその進退に不安を抱く

方氏の愛嬌

に提出し直つよあるものと見られてある (天津特定二十五日及) 準門に設具確実をつよあり、問題は極めて重大化し (文本、) 一氏、方 じの指令に基との作品やや事實として現れ来り (政民政府を) 指兵を完了することは困難ならん に討義されることよなつた しい しん に対象されることとなった

(天津特電二十五日夏) 準門に蓋中である
(天津特電二十五日夏) 準門に蓋中である
(天津特電二十五日夏) 準門に蓋中である
(天津特電二十五日夏) 準門に蓋中である。
(天津特電二十五日夏) 2000 (1000

けふ國民政府から發表

廿八日迄の撤兵完了は困難

質現不可能か

東引繼ぎの

刷般 造日社印制的

38.8.1.8.8.

萩川放談

武輸禁解

だいだの計画からは、世界大震 が、破紅が徹少の範疇に限られが、破紅が徹少の範疇に限られが、破紅が徹少の範疇に限られが、破紅が徹少の範疇に限られば、ない。 

いらざる場合に原民政の 今調節

の終了と共に不要

関の収極めと云へば、西野関民政府の為に都会

あつた。

を概率された観察は氏衛に最後の世界には、日の経験であた。最近の世界に最近の世界には、日の地域であた。

落後の事とてよ

反應は如何

局面急轉直下説あり

上場よりも販売するとこ 文登縣へ **褚玉璞氏** 

不戦條約問題の

政府の大體方針決定

事である。

御用船宏利號

我官僚から飛行機を購入権込中止

氏は神野青島間の整備を見続く事」
「大は神野青島間の整備をでは、劉珍年南、北京が出來るものと見てある。」「大は神野青島間の整備をでする。」「大きな一般を開始、東京の一般の一般を表演を記述している。」

條約公文交換は

つたが、十六日未明龍口より入共に注目せられてゐるところで

氏の進退し張宗昌氏の態度してゐるが氏は語る民の徳を証格として働いた。それまで一度別府で部藩すると標

來月五日頃

岡本領事支那側に通告

に表現した管断本領事より周髄光氏を通じて支那館に通信して本機の都合に依り其の交換期目を実口、南京兩事件調印後と日本側の都合に依り其の交換期目を実口、南京兩事件調印後とた。1000年11日 1000年11日 1000年1

詭辯を弄し

**支那側責任囘避** 

てはないが蔵體の精神に派はざては事務的ではないが蔵體の精神に派はざてはないが蔵體の精神に派はざてはないが蔵を主張してゐ 

としても責任を如何に軽微に、等を招き不職我就愛を鑑賞したとしても責任を如何に軽微に、等を招き不職我就愛と認識した然し政府としては此事為的失。法制語及官、音田大官、郷田局別然し政府としては此事為的失。法制語及官、音明へ領。第4年 (本) 「一十五日子後四時へ原源相、第2年 (本) 「一十五日子後四時へ原源相、第2年 (本) 「一十二日 (本) 「一十

地方長官大異動 地方長官會議を前に 内務省異動と共に行はれん を制象せざるものすべて斯く 特勢を洞察せざるものすべて斯く の別名か。

が、 では、 であったことが、 いようない。 これで今までの とれて今までの

り、此の機會に山田衛生局長は一会体職の場合に山田衛生局長は一会体職の場合の時間の一会体験の場合の場合には自然は一会体験は、一会体験は、一会体験の場合には自然は、一会体験を対して、一般の機会は、一般の機会は、

不任山口縣 奈良縣學 為

定の機能決定すれば決定するのかでの機能決定するのか 六日出帆のあめりか丸にて内への部蔵言氏(泰東日報社長)廿 主義、排日主義、教学の思考ない。日和東三省モンロー主義とは、日和東三省モンロー主義とは、日和 大觀 府立京都無林學校一行六成美氏(禁護士) 詞上 の天津丸で青島へ(清儀旅館協會長) 小数 經西屬舊的長)

其の統一はまだ出来では、 をなってまなり、関係を関する。 を表すして、現に無限が中代の際決と 大に止めるべき皆なりし反形は、 大に止めるべき皆なりし反形は、 大に止めるべき皆なりし反形は、 大に止めるべき皆なりし反形は、 な無き協約服果に関連したとは、 が無き協約服果に関連したとは、 が無き協約服果に関連したとは、 が無き協約服果に関連したとは、 が無き協約服果に関連したとは、 が無き協約服果に関連したとは、 が無きは、 がある、新んな、 かは、 なんかは、 なんかは、 なんかは、 なんかは、 なんかは、 なんかは、 なんかは、 なんがない。 なんが、 なんがない。 なんがない。 なんがない。 なんが、 な 歌かも知れのが、此頃高國と馮 投げられた の協約に加はり居らず そんな取極めには登成

とが國民政府の利益であられた。 っした拘束のあるが、反つて

けふ發表さる

經濟調査局

ない

幹事長に決定

森外務次官 辭表提出

雅音皆無。新表法 桂川帯屋の段竹本源太夫 吃安と次節長候 古典藝術の粹 れありて みだれ替手 五月新 津湯 もみ 戦 大和家 三姉妹来等(山中節入り) やかな洋樂 等三尺 住件 統 西天野 郡吉 良才景 瀬 神 ニフボノネンド 豐竹呂昇

本大氏を 村田市企業長の行動は粉料を3現。京場は之に依つて公開となららが活物水下の市政に新しき衝撃を興へた戦 市長は解せず、他の要員も氏に牧 地水下の市政に新しき衝撃を興へた戦 市長は解せず、他の要員も氏に牧 にたの機管に鷹せぬこと際がである に 顕着する。然し此の機會に乗じしてあないが結局石本市長が村田には村田野長一人が腹を切つたことの以上、氏は近く正式の手機きに出て新なる頭種の策動が早くも開始しての言明にもある通り全然一個の客に出て の言明にもある通り全然一個の客に出て の言明にもある通り全然一個の客に出て の言明にもある通り全然一個の客に出て の言明にもある通り全然一個の客に対して の言明にもある通り全然一個の客に対した。

前に御到着上原元郎の御先導白川岡田南大臣屋佐にて神前に御会進恭しく御親拜あらせ墓陛下御親拜の下に殿かに執行された此の日天皇陛下には守前十時宮城御出門同二十分記録陛下御親拜の下に殿かに執行された此の日天皇陛下には守前十時宮城御出門同二十分記録東京二十六日歿電」山東殉難者継新志士を合祀した靖國神武合祀臨時大祭は二十六日天 れ十時二十五分御氣嫌麗しく選幸あらせられた

## が抗議を無視 位権を侵害す

奉天北陵榊原農園の中央に 支那側鐵道を敷設

状めた。其抗議文は大略左の通り 以に我方要求通りに递に鐵道線(隔れる場所に停車場を設けんとしまに商租権を有するものなるが、却て面置的に初め農場から遙かに前略)該商租地は榊原政権が完善りつきでは、おけれる場所に停車場を設けんとして支那艘は

市民が自慢

の蝦は

めい珍現象

今日まで約七

萬八千圓を輸出し

下關邊では大競爭

蒙古各旗結束 

東きなされた御

昨夜山縣通で

女給負傷

S.A.

湯屋のボイ

守備隊兵歸還

一、景品引換期間一、景品引換場所

等外全部

昭和四年四月

大連市常

中原式に依り天長節祭を莊嚴に執端鐵社長兵他氏子役員等参列の上天長節につき大連神社に於ては午天長節につき大連神社に於ては午天長節に対しては千天長節につき大連神社

\*出

大連製水株式會計

旅順市嚴島町

THE STATE OF THE S **\$** 

◆……春の態で就は雨に杏花は散り船のたが、梨花の盤がふくらり船のたが、梨花の盤がふくらり船のたが、梨花の盤がふくら

姦通誘拐の

訴訟提起

◆……・注明者政府では容易建路をまた瀋陽機路と欧邦した『室天 島 長崎チャン 日 支 う ざ ん 日 支 う ざ ん がよの。ごんぶりもの 各種

方 ら と 天 ぷら 大湖市 宮野町(美月前)

11月 六六

をの告訴を二十六氏午前所轄小崎子 での告訴を二十六氏午前所轄小崎子

がいたなの背長が現はれた、然ががいたなの背景が現はか十四点の少女であるとはウイスコンシン州のブリーン、ペイ町附近に在るインデイアン保護量域に住むメノーン、ペイ町附近に在るインディアンにして自分の遺言によつて自分の

開催 勝馬投票券 金星ケ 日土天日 雨天順延

三十四月まで またどかき破格至廉点 電五八五八

設電】グロスクー

五彩に映る噴水

家族會に適しい處一八分咲き

君達が盛に田向ばつこをしてもあの場気な帯の野の合唱者、俊

一八分吹き

| 一八分吹き
| 一八分吹き
| 一八分吹き
| 一八分吹き
| 一八分吹き
| 一八分吹き
| 一八分吹き
| 一大小から
| 一大小

伏見臺配水池のさくら 

大連市山縣通七二 

去る十四日整行した本社主 笠松選手に市 長が金牌贈呈

るだらうと思られてゐる 自動車の 正面衝突 ける由

口

す金メダル一節を置るととこなったった。二十六日太郎日井徳が都長 天覽試合へ

ライオン印サ

を記述した。 を記述を表現で、 を記述を表現で、 を記述を表現で、 を記述を表現で、 を記述を表現である。 を記述を表記を表して、 を記述を表して、 を記述を表して、 を記述を表して、 を記述を表して、 を記述を表して、 を記述を、 を述述を、 を述述を、 を述述を を述述を を述述を を述述を を述述を を述述を を述述を を述述を を述述を を

支那電信復舊 一、賣出期間

一、景品添附 景品總額

枚

日まで限りとし以後無効と致します。昭和四年八月十六日より同年十一月末製氷株式會社並に旅順出張所

が、三年前傾原長場の中央を開発の監迫を取てしたもので 御訪日

骨港市廳舍で 公式歡迎式 グ公殿下から御答辭

の春には無くてはならない最初で あるが、近報が地に輸出せられば、 を置ふ本質・四月初かり渡り出し 上つて主に東京で擬かれ内地の車 上つて主に東京で擬かれ内地の車 上つて主に東京で擬かれ内地の車 上つて主に東京で擬かれ内地の車 上つて主に東京で擬かれ内地の車 上で駅に今は第一世に好まれる を置ふ本質・四月初から渡り出し と言ふ本質・四月初から渡り出し と言ふ本質・四月初から渡り出し と言ふ本質・四月初から渡り出し と言ふ本質・四月初から渡り出し を表表して表表してまたらない最初で で駅に今は無くてはならない最初で で駅に今は無くてはならない最初で で駅に今は無くてはならない最初で で駅に今は無くてはならない最初で を書から渡り出し

を脱はす蝦夷の酸は大連の酸は大連の

理由のもとに髪の上に飾

政し始めた。それと知つた

の中止、動態戦後の撤騰を情事を表表の事性をして、

案を可決 「大きな」

「大きな」
「大きな」

「大きな」

「大きな」

「大きな」
「大きな」

「大きな」

「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな」
「大きな

ではおぼひに競手のは米五銭

の春に

ふは遠足デー

市内十小學校の兒童が一

空軍制

基礎案を可決

軍縮準備委員會で

一發航を待つ は、産會社で融つてゐないだらうと大いを終り儲かつてゐないだらうと大いを記している。

の日本経量の最大限度を決定することを以て空電器とででである。 を流行機動の最大限度総派行機の健康がの最大限 を流行機動の最大限度総派行機の健康がの最大限 を流行機動の最大限度総派行機の健康がの最大限 を流行機動の最大限度総派行機の健康がの最大限 を流行機動の最大限度総派行機の健康がの最大限 を高いる。

御居間に英國色横溢

7 望ぶば飛出衣之工人人 東京二十六日設電』「陰温洋配」「たんしょりに「花の幣」の訪れをの寝かき印、葉もタンボボも突き が無は最近側く解鍵工事の完成を受けた受唱さ、あつちこつちの機 出してゐる 見た問題は一萬懶八時宿十門遊力 は吹きかけた、鳥も鳴け、子供も の寝かき印、葉もタンボボも吹き が無は最近側く解鍵工事の完成を受けた受唱さ、あつちこつちの機 出してゐる といいのでは、子供の野遊び、滅びデーのこ では、そして稲の日をおえよ、け でいる。 では、そして稲の日をおえよ、け でいる。 では、そして稲の日をおえよ、け でいる。 では、そして稲の日をおえよ、け でいる。 唐澤準告

割院長 木材俊野 和三年十一月同居せしめた臨行 和三年十一月同居せしめた臨行 は張が車夫家業で外出勝ちなの を奇貨とし張の妻高氏(二二)と を奇貨とし張の妻高氏(二二)と を有貨とし張の妻高氏(二二)と 地へ乗れた関が行に立退を譲け、 地へ乗れた関が行に立退を譲け、 地へ乗れた関が行に立退を迫り が、高氏とは依然関陽保を 映線し本月十八日業に高氏をそ のかして張方を出奔せしめ何 處にか縁匿してゐると聞ふので

**尤連**形

吳服店

(人) お化粧餐りの目覧ましい 他がと存じますわ。お化粧や無付 でと存じますわ。お化粧や無付 にはキせる私が、モダーン購入方が 取の実を養いさいふことを全く等 でと存じますわ。お化粧や無付 でながり、なるはどれば とわかり、なるはどれば ととのでで見ると何の の実服業スマイルを動して ともかかり、なるはどれば ともかかり、なるはどれば ので随時間所で監眼し得 自備式歌眼器を乗れ現代

明りの合き

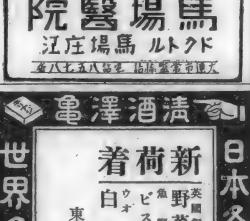
がまった。 ではさんのお

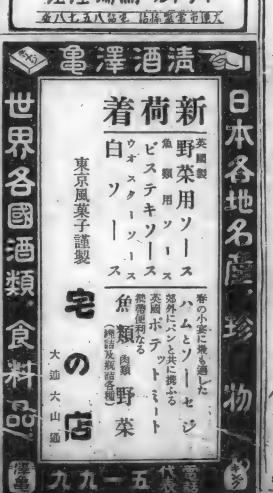
(日) あら…私もです













ものとやうな能大が、白い眉をよった 嬉し耻づかし

でもけたまふ驚いた。同時に乗りだし 取つた。その時、同く譲しく戦さんと、心をはいた。 と、前を見ると、乙臓、口をあ 銭箱を、お京は 増しく でもけたまふ驚いた。同時に乗りだし 取つた。その時、同く譲しく戦さんと、前を見ると、乙臓、口をあ 銭箱を、お京は嬉しく雨手に受けた。 なんにない はなんし、窓が鳴きながら後に、 ついて エヤー、超さんー、窓が鳴きながら後に、 ついて エヤー、超さんー、窓が鳴きながら後に、 ついて エヤー、超さんー、窓が鳴きながら後に、 ないで取り返した物だ。早く と、前を見ると、乙臓、口をあ 銭箱を、お京は嬉しく雨手に受けた。 かんまん 第一次 でもけたまふ驚いた。同時に乗りだし 取つた。その時、同く譲しく戦つ たば五郎、ふと西の方の路を見る かった かんしょう はんしく はんしょう はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょくしんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく は

近野学の現代的高級時代的高級時代的高級時代的高級時代

こわしになってしまひます。 「はずからず構像として行は、 を変形にはずからず構像として行は、 なですの…… (A) 然し、モダーン、 くできる方法があります。 (BC))それは初耳ね。

・耐道の女流作家 問題となったクレオバトラの

一紙洗小町(泉漆一部氏)▲田村(

婦人の眼についての座談會

美 禮。

M

ニコニコ大會 國際

チュツーと出て 店商單祭計會式修店車代

を恢復し親力を強め角に

◇…スマイルの

戶

書引手買賣

**入**猛默映画

典雅にして

貴品まる

求めらる」が便利であると

奉祝素謠大會

(221)

金

(四)

門 富太

由

菜

内

廿一日より

同級眼科藥



五月廿八日前に 引繼は必ず終る 一兩日中に山東省政府に引繼命令 

中外各國に於ける鑛山、鐵道「管提擇出來る中否や中外各國に於ける鑛山、鐵道」「中外各族事業と中國人民を設して來た」、中外各族。「一、中外各族事業と中國人民を設して來た」、中外各人專行政狀況と強之。

國民政府、張氏に命令

兩參與官の

邦商廉賣の

御父皇帝御平癒の報に

【東京二十六日發電】外務省有出

特使殿下お喜び

香港御着のグ殿下

けふの閣議で

辭表承認

干渉に抗議

東京二十六日受電』田中總理は二十三日を信邸に招致して不敬能的問題、送したを信邸に招致して不敬能的問題、送したを信助に招致して不敬能的問題、送したを信めた。

「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無電によればグロスター公販下がモレア號御楽館に動いています。 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無数と無事に総らせられたと云ふ御通知を整合を開かせられたける御真態は懲て一点されたとて非常にお客びになった。 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無数を無事に総らせられたとて非常にお客びになった。 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無数を無事に総らせられたとて非常にお客びになった。 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無数を無事に総らせられたとて非常にお客びになった。 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無数を無事に総らせられたととにつき御袋渉後、 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無数を無事に総らせられたととにつき御袋渉後、 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無数を無事に総らせられたととにつき御袋渉後、 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無数と、一点は、一点は、一点にお客ではなった。 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無数と、一点は、一点にお客では、 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無数と、 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無数には、 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無数には、 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無電によればグロスター公販下がモレア號衝突が後、 「東京特電廿五日設」モレア號二十五時無電によればグロスター公販下がモレア號衝突が後、 「東京特電廿五日設」モレア號一段が後、 「東京特電廿五日設」モレア號一段には、 「東京特電廿五日設」モレア號一段であり、これたとは、 「東京特電廿五日設」モレア號一段が表して、 「東京特電廿五日設」モレア號一段には、 「東京特電廿五日設」モレア號一段には、 「東京特電廿五日設」モレア號一段には、 「東京特電廿五日設」モレア號一段には、 「東京特電廿五日設」モレア號一段には、 「東京特電十五日設」モレア號一段には、 「東京特電廿五日設」モレア號一段には、 「東京特電十五日設」モレア號一段であり、 「東京特電十五日設」モレア號一段には、 「東京特電十五日設」モレア號一段であり、 「東京特電十五日設」モレア號一段には、 「東京特電サーベンナークに対した。」「東京特別では、 「東京特電日、「東京特別では、 「東京特電」「東京特別では、 「東京特電」「東京特別では、 「東京特電」「東京特電」「東京特別では、 「東京特電」「東京特別では、 「東京特別では、 「東京特電」「東京特別では、 「東京特別では、 「東京教別では、 「

本の主意の表現を表現しています。

「「「「「「「「「「」」」」

「「「「」」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」」

「「」

「「」」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

首相と懇談 森外務次官

勞働紀律頽廢に

職業組合の對策

凡ゆる處罰を専行せよと

所屬各組合に訓合

方振武氏 意思表示 山東引繼の

抑留日貨の 返還を

長沙へ向

張煥相氏 

注目される

無產黨勢力

全國市町村議員戦で

良好の成績を示す

電行配長管無機相比は現代数の死間で変更を明白の大きによるが機合ある無に数した。 東支の回收は自分の行政長官在 東支の回收は自分の行政長官在 東支の回收は自分の行政長官在 東支の回收は自分の行政長官在 東支の回收は自分の行政長官在 東支の回收は自分の行政長官在 東支の回收は自分の行政長官在 東支の回收は自分の行政長官在

滯洲日

報

等は大連市民のために斯くの如 し了ることなきを保し継い。我

て巳まない。

の名のなるなるなるなる 美男新人 電八六七五 日の出版タクシー 金融を花を電三氏外の 出版タクシー 投入 材料 なん 花 盛 花 塩 花 盛 花 5.00 day 20 days 座席申込みは 若狭町二番地 中 熟筑後屋質

鋻で抉る

人鮮婦を

近く工事に着手

漁泉場開放の第一段として

公費をもつて建築

さったらう、大様に無げた字ではあり、配より、配より、配より、でいる若が母にはがは無いとして表別のない、東和は大事と死亡となった。現れは大事と死亡となった。東和は大事と死亡のでは、東和は大事と死亡が、東和は大事と死亡が、東和は大事と死亡が、東和は大事と死亡が、東西にださっき、

一いに優る

市太郎やー

根屯大阪にもつて軍務にいそし

計画として渡滅することを立つ、変には六十人歳の父と 説の田が家兄の仕送りの で一覧の議覧内で一覧の議算を

に兵庫縣佐用郡大濱村に ることになった。

職職更新会は報天交店では十六氏 事を所で 第一期の窓枠総合 大変出しは来る に使利な多様の器具をも集め而も 五月二十三氏交換堂で、城西出版を開催やは同所で作った果健頭十一 小川博士(赤十字病院長) 北支 では、大月頃に開催 を 1 大月頃に開催 を 1 大月頃に開催 1 大月頃に用作 1 大月頃に開催 1 大月頃に開催 1 大月頃に開催 1 大月頃に用作 1 大月頃に用作 1 大月頃に開催 1 大月頃に用作 1 大月間に用作 1 大月間に用作 1 大月間に用作 1 大月間に用作 1 大月 1 大月間に用作 1 大月間に用作 1 大月間に用作 1 大月間に用作 1 大月 1 大月間に用作 1 大月間に用作 1 大月間に用作 1 大月間に用作 1 大月 1 大月間に用作 1 大月 1 大月 1 大月

個人一級を十銭で変る由 町の便り 町の便り 町の便り 町の便り 本本部門とで名称が深大郎両端 本来る二十八日午後六時から滅ぼ 大西漢氏(東朝支那部長) 北支で 大西漢氏(東朝支那部長) 北支で 大西漢氏(東朝支那部長) 北支で 大西漢氏(東朝支那部長) 北支で 大西漢氏(東朝支那部長) 北支で 本本端別のため廿五日副競挙 日大連より來率 日大連より來率 日大連より來率 本本版の戦の発表であくなしめりもなく造体 を聴動を聴動が出場が、大力・ を表現は対象ので、大力・ を表現は対象ので、大力・ を表現は対象ので、大力・ を表現は対象ので、大力・ を表現は対象ので、大力・ を表現が、大力・ を表現が、ため、 を表現が、 を表し、 を表現が、 を表し、 を表現が、 を表現が、 を表し、 を表現が、 を表現が、 を表現が、 を表現が、 を表現が、 を表現が、 を表現が、 を表現が、 を、 炭礦請負工事

大官屯に

貨物車脫線顛覆

東部線で

丸太積載十四輛大破

車掌一名重傷を負ふ

大社へ出
日日 国 に 山地 (本社) 日 国 に 山地 (本社) 日 日 国 に 山地 (本職) 日 日 日 (本職) 日 (

といふ酸を聞くことがかなり人ののない。

したいものである。

4500

見童文庫の活用さ

見童の研究

撫順千金小學校

田

音

教育無駄話 食ふこさに 役立たぬ

して生きることの根本問題は ととほど戦戦な問題はない、然 ととほど戦戦な問題はない、然 ち食いことである。 かの

四

ない戦争な機器にある人の言か とのない人の言かさもなくばさ 食ふといふことは住々にして如 くちへられてゐるが、それは 威にみつめたこ となる前に先づ食へる人間をことなる前に先づ食へる人間をことなる前に先づ食へる人間を 育を全人教育だとか人間教育だ 発駆に選挙してある先生達は教 発駆に選挙してある先生達は教 食ふことの保證を得られずしてしらへてもらひたいのである。

とが出来やうっとにかく今の数では一般教育者の水流の幸福を考しては、大きなの幸福を考えている。 一般以外どれだけ被等の質生活を 一般以外どれだけ被等の質生活を 一般以外どれだけ被等の質生活を 一般以外どれだけ被等の質生活を 一般以外どれだけ被等の質生活を 一般以外どれだけ被等の質生活を 我國の學校教育が諸外國の學校教育に比して其の修業年限が長いといふのはいろくの理由もいといふのはいろくの理由も 役立つて るるだらう。

教專讀物調查會

推薦の兄童讀物

(四)世界數學史(小坂正行)

青年會主催

資格は中等駅校等第生に 科の厳低は大速第一、第一 科の厳低は大速第一、第一 有終、原質、伊藤の大氏。

昭

せ

国义

が其の最大なる原成であられば ならぬ然して修築守限の長いと いふことはそれだけ社會への質 戦争的に眺めたならば大なる損 関家的に眺めたならば大なる損 0 會に於て左記二種の體物が推應第十一回教專兒室職物調查會例

過ぎてゐる。

を以て教育の質的充實の根本ととにかくなるべく教育の無法に動する訓練開合者になる。 職業に動する訓練開合 暴力王鞭を排せ 雄辯大會

で記載がは、ことは、 で記載がは、ことは、 で記載がは、ことは、 で記載がは、ことは、 で記載がは、ことは、 で記載がは、ことは、 で記載がは、ことは、 で記載がは、ことは、 で記載が、ことは、 で記載が、ことは、 で記載が、ことは、 で記載が、ことは、 で記載が、ことは、 で記載が、ことは、 で記載が、ことは、 で記載が、ことは、 で記載が、ことに、 で記載が、ことに、 で記載が、ことに、 で記載が、ことに、 で記載が、ことに、 で記載が、ことに、 で記述が、ことに、 で記述が、 で記述が、 でいるに、 でいる、 でいる、 でいる、 でいるに、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる。 でいる、 でいる。 でいる、 でいる。 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、

質に支那を出 未定 晋人の党隆 新興青年の使命 良断たるを以て任ぜよ 吉本 登 小島。撫順 邦廣 劣 を確して単独な目的では が果して単独な目標を対して が果して単独な目標でありた。

昭

ŋ

小迫 凝 林田 森 次に批奏なことは思想

2

でなるばかりである。

と兒童讀み本の

ら見ると小學校に於ける文庫と ・ の見ると小學校に於ける文庫と

傾向

院教行魔一殿八十成 (1) 無太郎の崎(奥勝野晶子 (1) 無太郎の崎(奥勝野晶子 (1) 無太郎の崎(奥勝野晶子 (11) 無太郎の崎(奥勝野晶子 験語である、微田殿介養、製 家話である、微田殿介養、製 である極めて品のある好い さがある極めて品のある好い 日配めよ少さき開始者 育成 松本 倉松 育成 松本 倉松 日酸めよ少さき間 蒋蒙の地を衆郷土として 大二中 足立 億行

しての個性がある。根を作る人は郷の手入と同一観してはならぬやう人材を活かすには須らくなの個性を殺してはならぬの情性を殺してはならぬの情性を殺してはならぬの個性を殺してはならぬの個性を殺してはならぬの個性を殺してはならぬの情性を殺してはならぬの情性を殺してはならぬの情性を殺してはなられる。 ならしめる所以である。ならしめる所以である。ならしめる所以である。ない理想の監督者として自ら舌むはまだしも、若い理想の監督者をして、其の賦俗者にしようとするのは何たる緊腮であらうか。 松を作る人 際のがで解決し能はぬものがある。 をそれは現代確認と離はれる科。 をそれは現代確認と離はれる科。 で解決し能はぬものがあ 除りにも明かな事實である。 との世来なものであることは ことの世来なものであることは だりしてゐるやうでは思想を 懸賞童話募集

K

個性をし

置

見

父兄の後援によって大正十二年

が、其の活用の方法に至っては

しては、

相當有力なものである

光あら

所者の光とががタッテされねば 所者の光とががある。数数 が人間を作り上げる仕事である が人間を作り上げる仕事である が人間を作り上げる仕事である ある。 一種、 歌席小學校三四年程度、 全部八十行以内一回腹切り には、 一種、 歌席小學校三四年程度 全部 では、 大子行以内一回腹切り 

であると時である。過去の世であるとは密がであると時であるとは、 自己自身に取って は有難いものに相違あるまい。 は有難いものに相違あるまい。 は有難いものである。無論與理は經驗に より価値づけられ、若くは簡素に取って あるとは密が、 関連そのもの 基だしい まり値値づけられ、若くは簡素に であるとは容易に は 100 であるとば容易に とば容易に かって あるととは密熱に されない。 吾人は他くまで とば 100 であると 100 である 100 であると 100 である。 100 であると 100 である。 100 である 100 である 100 であると 100 であると 100 であると 100 である 100 である 100 である 100 である。 100 である 100 であ

を は、無條件に細胞を置きしたければ ならぬ。彼の時代後れといふのは、無條件に細胞を随喜し、世 は、無條件に細胞を随喜し、世 は、無條件に細胞を固喜し、世 が ならないのである

の生き埋きを見る。何に 酸所に人物に の生き埋きを出した。而も文化療 で間且つまで動き、酸所に人物に を見る。何に 酸所に人物に を見る。何に でいる時代 の生き埋きを見る。何に でいる時代 の生きとした。 でいる時代 のまる時代。 ない。 これのでは、 ない。 これので

管に教育者のみとは限らないが脱離世の光脈と解する人難はが脱離といふ大智板の下に、其の機能の者共に點- 繰りに干砂のでを打振つてゐるではあるまい

り使して計るの場でを施しては、 はせの除りに難い枚薬でない限

連りでをはいた様式が如何に至り、 にできないと同様は、教養選がのがという。 をした様式を低率の数を示すに が変やをはのにであつては、完成 をした様式を低率の数を示すに が変した様式を低率の数を示すに が変した。

性を指したもし

として就機能になやまなければならないやうでは現代の所謂語しい教育と今少と何とか考へ直さい教育と今少と何とか考へ直さい教育とのないではあるま 教育 爛 

7.6.8.4.8.1 集終を 大学の技・算に理り文を職を示して では、体験をは、体験科を では、対象を できる。 でき。

11011

度した皆様の極難を受するものである がに成みに昨年五月一日から七 がした皆様の極難を受するものである の比率を見ると質に驚くべき結 五五九九册 四

をなさないと思ふのである。…(未完)…

和昭

野田で使七時より九時送一週上 時間とし主として関連文で、 時間とし主として関連文で、 はただいの諸科を教授するがま

間の期限にて第四回受験科生徒募集

**司窓會** 

能効治主

2

拾

能效治主

耳鳴・埋吐、猿撃等直接間接に 東の他間点に原因する政箱、 の他網蓋に原因する政縮、逆の他網蓋に原因する政縮、逆 三日分 K 拾錢

能効治主

脚類其の他便器より来る階位に動す便器、端上は、平衡、比較、腕原器 して其の物迅速なる事語合なり。 斯

日分

3

拾

田田分 五拾五錢

7

荣

能効治主

2 拾

書き

能效治主

七日分 M 

がない。 

能效治主

3 拾

事状態の機能なり。

能効治主

り、質を概響の障害なく知ら四間に治癒する無管支カタル、関映カタル、百円度、掟を去 日分

多拾錢以上

能効治主

能效治主 数、数据記載を整備を配 y ときない。

紅 新 蘇木

す賣販に店藥各地各

地震五向至三市边大洋 和 昭 元豪發

ないないない 天宝島春田 品品品品

店理代 五四一四選與市道大 整 昌 縣 上 井

日分

N

拾

鉄

人二種目以内とし一

没種目を記載して申込期限 に住所、氏名、年齢、職業 に発表して申込期限 で、職業

でであるものAを加は速 の一流選手並に之と同 のはなる。 のは速

五〇名とし組合せは抽験により但綱引の出場人員は一関體より

陸軍の新威力

列車砲完成

十三里半先にある

飛行機や軍艦射撃

ー七歳の

姉妹船建造

大阪商船で計畫中

女流飛行家

龍鳳新斜坑の

技の種目 作業を妨害 支那部落民が大擧し 形勢甚だ不穏を示す

| 大きな | 大き

放火の疑ひ

大冶丸見殺

乗合自動車が ・ 断崖より墜落

十五名が重傷

水上署家族會を開催するとは廿七日正午より伏見豪貯水池には廿七日正午より伏見豪貯水池に

豊國丸の遭難

宏濟街の火事 

大連神社々頭で 大時間 (長野二十六日政電) 二十六日子 (大時間) でで、線御代日野を登り、一十六日政電 1 一十六日政電 1 一十六日政電 1 一十六日 2 一十五名は 2 一十五日は 2 一十五日は 2 一十五日は 2 一十五

狂犬豫防注射

日の式會發館會佛日

少年團の入團式擧行

展粛に第十二箇隊参列の上

に節佳の長天

三つの願」四春衛日曜學天濟元國好官幹事太原天濟元國好官幹事太原 漢線 南昭會々員指揮河 では、大一大、双頭の鷲の下に 大一大、双頭の鷲の下に 大一大、双頭の鷲の下に 大一大、双頭の鷲の下に 大一大、双頭の鷲の下に 大一大、双頭の鷲の下に 大一大、双頭の鷲の下に 大一大、双頭の鷲の下に 大一大、双頭の鷲の下に

熊岳城農業實習所 熊岳城農業實習所鐵道株式會社設立

羅紗小倉厚司

H o

浪速町二丁目大連商品館(右入口) 山 疊の表替へ裏返し迅速叮嚀に致します ■ 6回六 ■

千人前迄の御注文に應じます 0 大迎市岩代町一四 御用命 大連驛構內食堂 御一人前(折萬)金五拾錢以上

家族會 @御辨當

御旅行に是非 定食三品香のもの附五十銭也(午前十時より) ちらし天ぷら が詰。辨當。仕出し

鮓。小鉢もの。さんぶりも

0

御手輕會席御料理

代

大油市吉野町(淡月前)

\*乃

ウイツチ 詰一一人的 人人人'

詰折理料洋西るな利便も最 詰折行外庭 ==−用用用

乘船切符代賣要求

その店 大郎氏の強別會を乗ね春季總會並 大郎氏の強別會を乗ね春季總會並 大郎氏の強別會を乗ね春季總會並 大郎氏の強別會を乗ね春季總會並 野は一側五十銭(家族は一名五十 野は一側五十銭(家族は一名五十 町等鳥辯護士方(電話は六二六二 丁参)常日持多のこと、申込は霧島

箱吉商店

ドます 高御参考までに病曹媒介の違れあるもので容易に消毒に依て防止し得るものご!!!例を挙

電話七六四四番

文化式儀式取扱

通

一、古貨幣

(一部は既に何等かの方法に)

折疊式 組立簡易

本 三町、温町名派出所管内 ・ 一 本十八日 ・ 大和町、千代田町、山 ・ 本十八日 ・ 大和町、千代田町、山 ・ 大和町、千代田町、山 ・ 一 、温町名派出所管内 內海氏慰勞宴 の朝明でんの晩今 意注御に休客

8 ウォステキソ リオステキソ リオステキソ 界各國酒類 東京風菓子謹製

諸傳染病豫防に

食料品

アット地名 大山原大山原

"(可谓論是常理三百)"

連市民運動

跳躍

五月廿六日、譚家屯運動場で擧行

決定した諸事項

| 特職し太田選手は高決勝でブルニ体験戦でフランスのラコスト選手とに大田選手は高決勝でブルニ体のに対し、

A 個人 イ、トラック一〇〇、 二〇〇、四〇〇、八〇〇、一 五〇〇、五〇〇〇 ロ、フイルド 砲丸拗、走巾 味、走高跳

を表行列の出場人員は一個協 より一〇名以上とし出場者はより一〇名以上とし出場者は 大り一〇名以上とし出場者は 大り一〇名以上とし出場者は 大り一〇名以上とし出場者は であること おものは出場を課題す るものは出場を課題す るものは出場を課題す なるなが、主候機能 はないまするが、主候機能

金剛呪門」の公開

好評裡に終る

重 鈴木吳服店

大賣出

堀出し物の

廿五日協和會館の盛況

決問題であると称されてゐる

破壊される云々の断にあ

始した

三木選手敗が

(113)

肺病全

全治の經驗

胃

までうけた

四月建)東京市芝區上福

人全國無崇集會所(定種原動展別七の六番版

を傾言るのだ

たいたれば解析する は本で大人間の数さ をでする。 をでする。

る本しなのです。しか れも「出来」はやつ れる「出来」側

中かられ」

「保さんの要はもう歌目だわっと「恋告です」

ても、今までの饗に会の世帯ルること「恋告です」

ても、今までの饗に会の仕事ル念「忠告でせう」

をでするの」

でするの」
「その閉びた門を思ざされてゐるん的な忠告でせう」
を変し、その男の如何にも落つ
のでするのがいた態度を慣々しげにながめた。
には「出来継ぎず」はつきものなたく聞いておくわっては要も、る

をない、その男の如何にも落つ
内でするのがいた態度を慣々しげにながめた。
ののには「出来継ぎず」はつきものなたく聞いておくわっては要も、る

全全

本半日人名(今(一九二九年)版)民國十五年に第一版を出したもので上版 今回第三版を出したもので上版 今回第三版を出したもので上版 大道及無統治級の日華人職業案 大道及無統治級の日華人職業案 大道を持二元五角、大連市茂路町 三十一柳川重設行)

はなのです。あなたが緑に命じこは洗して田本人ではないのです。ある計略(二) キナれ、緑が多なたに命ずること そりやわけはないわ。とても理解百合子はその作居とせる鬼などは、洗してしてはならないの 階らしい方法があつてよい 要はさん。あなたはどうも餘りに口を出しち来風るわ」 だんな方法です」 であれたが吸がする。 「じゃ、要のする歌などにそめな 「まあ、みてらつしゃい。二三 ですと、当時も根部からの命令なんです。」ととろが、緑に散されてゐるたらあ、それに成功して見せるわ でも所も根部からの命令なんです。」 「ととろが、緑に散されてゐるたらあ、それに成功して見せるわ でも所も根部からの命令なんです。」 「ととろが、緑に散されてゐるたらあ、それに成功して見せるわ でも所も根部からの命令なんです。」 「ととろが、緑に散されてゐるたらあ、それに成功して見せるわ でする はんです。」 「ととろが、緑に散されてゐるたらあ、それに成功して見せるわ でする はいまないです。」 「ととろが、緑に散されてゐるたらあ、それに成功して見せるわ でもがも とでも でする とりすぎます。」 「ととろが、緑に散されてゐるたらあ、それに成功して見せるわ でする にないのです。 みてらつしやいの二三日

獨特の藥効を

お試しあれ

八コード營業用 買なら信用ある (黒・出せル金23100 23 13 25 機械の元組▼ (指願金融の) を附キマス り年々累加シテ行タ外、 四分五厘 次回ガ九分 保險ノ配當率へ初回ガ 當社ノ利益配當附養老 供シテ居りマス 金配當」附保險ッ提 補期ノ節ハ別ニ割増金 「貯金利息二優斗利 企湯 の花 小儀式に限る 小儀米問屋本店

文田の河

波澤庵に限ります

頂何れも美味天下一)

大河

何と云つて

ちです。これは上なたは夢くとも日本に献み的な書ったです。これは上なたは夢くとも日本に献み的な書ではない。しかし、もって一次を書ではない。しかし、もって、まって、まって、まって、まって、まって、まって、

産兒

標(GY)

テキサコル

ーフイング、ビッチ

サラダ油

車石軸油油

植物油

部印ボイラーグラハイト

的の治療薬ここにあり、即時循減服あれ、なる関熱、整汗、咳嗽、下痢の気をも目 京小石脂下富坂町二〇 無 歌 夢 歌 十二郎の送野十二銭海外四十五銭 に盛れ、不安去り光明都ち現るべし 子るがれ、 脱鍼の病臓に、更生的

東京市外集級町三丁目二十八番地

的治験は、今や世界の學界に確認せらる、 は職院宛御書面のこと 悲觀する勿れ光明爱にあり

生命保險會社へ競ファ 經營坚實、基礎常因ナ

振替東京二〇〇二一帯

内壁は、されを改造して消化吸收を臭好に を順當にし、病我せる胃臓の細胞は、どれ酸せる胃臓の破骸は、どれを腱髄して無常 更質して共興能を完全にし、 廉頼せる質量 重を加へ、健康ここに生態が、榮養を増

說明者、實驗報告聯舉す 殊に痔核、痔出血 金寨。軟膏、共に全く創設なく、珠に患器

常習便秘

肛門周圍炎等

に於ける陽所麻痺は無る逃滅に作用するを 以て、調差な 8民権及び年来をより、止直 設備、水鉄性を具備し且つ防算作用を有す るが数に創画組織の新生を促し治療的。」

四月十七日後四時四月十七日後四時四月十七日後四時 五月七日 四月廿八日

第十六共同为四月十八日後七時 第十六共同为五月 日後七時 第十六共同为五月 日後七時 第十六共同为五月 日後七時 第十六共同为五月 日後七時

●天津行 ● 大津行 ● 横州丸 四月廿七日 ● 横州丸 五月一日 ● 横州丸 五月二日 一 一 五月二日 一 五月二日 一 五月十七日 一 五月十七日 一 五月十七日 一 五月十七日 一 五月十七日

あむうる丸 五月二日 がで

性 病 物条米族 生殖器障碍 **泌尿器** 

大連加賀町三〇大連加賀町三〇

五月十三日李湘行五日卅五日十三日李湘行

大連市紀伊町一

野五

元 商店

連汽船曲帆